

【第3回】石巻市震災伝承検討委員会議事要旨

- 開催日時 平成26年3月24日（月） 午後1時30分～午後3時30分
- 開催場所 石巻市役所6階 市議会第1・第2委員会室
- 議事次第
 - 1 開 会
 - 2 あいさつ（平川委員長）
 - 3 議 事
 - (1) 先進地視察の報告について
 - (2) 震災記録の対象範囲等震災伝承のあり方について
 - (3) 市民アンケートの集計結果について
 - 4 その他（事務連絡）
 - (1) 旧門脇小学校の耐久性調査結果について
 - (2) 平成26年度の進め方について
 - 5 閉 会

◆ 議事要旨

(1) 先進地視察の報告について

各視察箇所の概要、印象等について、資料1に基づき事務局から説明。

（主な意見）

- ・現物が示す迫力を感じた。
- ・住民感情について、今も複雑なものがあることが分かった。
- ・遺構の持つ力をあまり強く感じられなかった。
- ・コアゾーンに対するバッファゾーンが重要。遺構の周辺環境も導入部として検討していくべき。

(2) 震災記録の対象範囲等震災伝承のあり方について

資料2に基づき事務局から説明。

（主な意見）

- ・震災記録は誰が集め、管理しているか。
⇒現時点では広報担当課で行っている。
- ・まち中全体に津波の到達地点を表示するサインを設置するべき。
⇒県事業として実施しており、連携を図りつつ市としても検討したい。
- ・県の取組としてデジタル化推進事業を実施している。被災市町から様々な資料・情報を集め、整理し、活用方法や公開方法について検討を進めている。
- ・資料の収集管理だけでなく、デジタルデータや被災物の展示などを今後どのようにして

いくのか、展示施設も見据えた検討を進めていくべき。

- ・ 3.11 の思い出の品についても保存してはどうか。
⇒個人が特定できるものを除き、一部を保存する予定。
- ・ 兵庫や中越では、仮設住宅から本設へ移転する際に出る多くの震災の品々を集めたと聞いている。取捨選択は難しいが活用を検討すべき。
- ・ 南浜地区の復興祈念公園にはどの程度の記念館ができるのか。
⇒国の有識者委員会では3月に基本構想を策定した。まだ理念的なものであり、具体的な検討はこれからになる。
- ・ 収集対象について、行政文書は貴重な資料となる。
- ・ 今後の収集の視点として、防災を意識した保存なのか、博物館（展示）を意識した保存なのかについての御意見をいただきたい。

(3) 市民アンケート集計結果について

資料3に基づき事務局から説明。

(主な意見)

- ・ アンケート結果の公表方法や住民説明会等の開催を検討してはどうか。
- ・ 報道を通じてアンケート結果のポイントは伝わる。
- ・ メディア側から見ると、震災遺構に対して市民からあまり声が上がってこない。
- ・ 市民意見には強弱がある。強い発言をした人に影響を受けてしまうおそれもある。
- ・ 住民に様々な意見があることはアンケートでも分かる。
- ・ 遺族等つらい思いをした人たちから、説明会等の場で意見を聞くことは難しい。
- ・ 県としては、各地域で賛成反対の意見が半々という状況の中、専門家に方向性を決めていただくべきということで検討を進めている。
- ・ 女川の中学生は、住民のアンケート結果が過半数の賛成がない中でも、自分たちの想いを貫くための活動を行っている。
- ・ この委員会は震災遺構の認定ではなく、候補として何を残すべきかを検討すること。

ここで、すでに利活用や保存の方針が決定している施設等は、震災遺構候補としての検討対象から除外することを確認。今後、委員会として震災遺構の候補対象として検討する施設等を3件とした。

(旧門脇小学校、住吉公園、中瀬北地区)

- ・ 住吉公園、中瀬北地区について、復興まちづくりとの関係性を示してほしい。
- ・ 門脇小についても、バッファゾーンの話もあるので、周辺の情報を示してほしい。
- ・ 南浜地区に残る民家についても保存対象として検討すべきではないか。
- ・ 個人所有のものであるので、この委員会で対象として議論することは難しい。

◆ その他（事務連絡）

(1) 旧門脇小学校の耐久性調査結果について

(2) 平成26年度の進め方について

資料4及び資料5に基づき、事務局から説明。

以上